

令和2年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会「第4回常任委員会」  
議事要旨

日時	令和3年1月14日（木）13時30分～15時
方法	LINE ビデオ電話
出席者	石原・齋藤・桐原・廣田・林田・福永（理事6名）永田・太田黒（事務局2名）
会 議 内 容	
1	開会
2	あいさつ 石原副会長
3	議長選出 齋藤理事長
4	報告
	(1) リモートネットワークアクション2020の開催について（資料P1～7） ・齋藤理事長から、12月21日に開催されたリモートネットワークアクションについて報告。
	(2) 九州ブロッククラブネットワークアクション代替事業の開催について（資料P8） ・本年度開催予定であった長崎県が、中止となったクラブネットワークアクションの代替事業として、令和3年2月13日（土）にリモートでの事業を行う旨報告。
	(3) オンラインセミナーの実施状況について（資料P9） ・これまで実施したオンラインセミナーの実績を説明。
	(4) 本協議会加入クラブの解散について（資料P10～11） ・さかもと未来クラブの解散について報告。 ・支援金8万円についても受取辞退をされた旨説明。
5	議事
	(1) 県内クラブ交流事業及び被災地支援について（資料P12～13） ・令和3年2月6日（土）に予定している事業説明。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により発令された緊急事態宣言について説明し、実施が延期中止となる可能性がある旨説明。 —特に意見なし—
	(2) 令和3年度事業計画（案）及び（3）令和3年度予算（案）について（資料P14～17） ・一括して説明。 ・事業計画について、会議事業は今年度ベースで案を掲載している旨説明。研修会事業は、集合1回とオンラインを適時開催として計画を記載している旨説明。 ・予算について、赤字の部分今年度予算と異なる項目である旨説明。 ・イトメンの収益については、今年度も1円も遣っていないため、2年分ある旨説明。 ・齋藤理事長から補足説明。 今後、総合型クラブの登録・認証制度及び中間支援組織の整備に係る体制変更が生じた場合、これまでの本協議会事業を円滑に継続していくためには、事務局員を新たに設置した方が良い旨提案。ただしこれについては、理事会並びに評議員会での承認が必要な事項となる旨情報共有。 —協議の結果— ・3月の理事会までに事業計画及び予算について各理事から意見聴取する。 ・復興支援金の活用も含め、事業計画に反映する必要がある旨情報共有。

(4) 総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度及び中間支援組織の整備に係るタイムスケジュールについて (資料 P18)

- ・事務局から令和4年度から運用開始される登録・認証制度及び中間支援組織の整備に係る説明。
- ・齋藤理事長から、登録・認証制度に係る説明。
- ・廣田理事から、例えばFacebookのグループQ&Aのようなデータ (いつでも検索できるもの) があるとよいという意見があった。

—協議の結果—

- ・まずは理事が登録・認証制度、中間支援組織の整備について理解し、各ブロックで情報共有できるようにしていく必要があるため、そのための情報共有方法を模索する。

6 その他

- ・事務局から、各ブロック補助金について、例年は全額執行を依頼しているが、本年度は事業が思うように実施できなかつたと思われるため、残金が出る場合は事務局に報告いただくよう依頼。

7 閉会

